

施設向け 令和3年12月

感染対策レター 第13号

川崎市健康福祉局 感染症対策課 TEL: 044-200-2343
Email: 40kansen@city.kawasaki.jp

新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）について

新型コロナワクチンは「高い発症予防効果」「重症化予防効果」がありますが、時間の経過に伴い、効果が徐々に低下していくことが示唆されています。感染拡大防止及び重症化予防の観点から、初回（1回目・2回目）接種を完了したすべての方に対して、追加接種（3回目のブースター接種）の機会を提供します。

<3回目接種のタイミング>

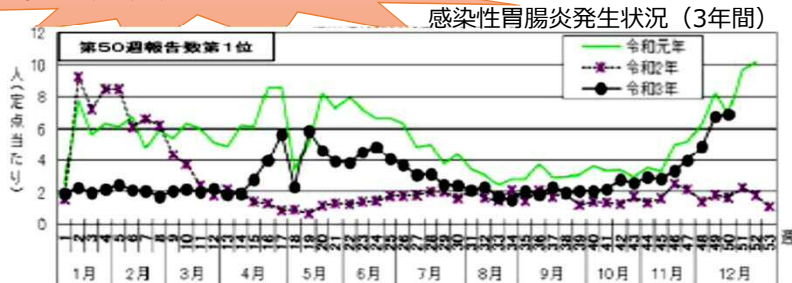
- 2回目接種を完了した日から**原則8か月以上**が経過してから
- ★医療従事者等・重症化リスクの高い高齢者施設入所者等は、**6か月以上**
 - ★その他の高齢者は、令和4年2月以降、**7か月以上**

<特に接種をお勧めする方>

- ・高齢者、基礎疾患を有するなどの「重症化リスクが高い方」
- ・重症化リスクが高い方の関係者・介助者（介護従事者など）など「重症化リスクが高い方との接触が多い方」
- ・医療従事者など「職業上の理由などによりウイルス曝露リスクが高い方」

<参考資料> ・「COVID-19ワクチンに関する提言（第4版）」日本感染症学会
・厚生労働省HP「追加接種についてのお知らせ」

ノロウイルスに注意！



川崎市健康安全研究所 今、何の病気が流行しているか！50週より

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの病原体による感染症です。ノロウイルスやロタウイルスは1年を通し発生しますが特に冬季に多いです。福祉施設や保育園などでの集団発生例はノロウイルスです。

昨年の感染性胃腸炎の市内発生数は、激減しており、全国の報告数も半減していました。手洗いを含む感染対策により、他の感染症の予防ができることを実証しています。しかし、今年は増加傾向ですので、注意が必要です。



日頃からの感染対策

ノロウイルスに感染しても下痢や嘔吐などの症状が出ない場合があり、知らない間にウイルスを排出し、感染を引き起こしていることもあります。

➡ トイレ後の手洗い・食事（おやつ前）の手洗いが大事！



石けんと流水の手洗い



洗い残しがないように指先、指の間、親指もよく洗ってね

➡ 入所時、外泊時には、入所者や同居者に胃腸炎症状の有無を確認する

➡ スタッフの自己管理（職員）については、胃腸炎症状があり、2日以内にカキ等の喫食歴やノロウイルス感染者との接触歴がある者は、勤務に出てくる前に責任者へ連絡しましょう。

⚠ 嘔吐物の処理方法を確実にすることが大事！

ノロウイルスは感染力が強い

* 10から1000個のウイルスで感染が成立しうる（細菌は10万個で感染）

* 乾燥すると20℃で2～3週間生存しうる

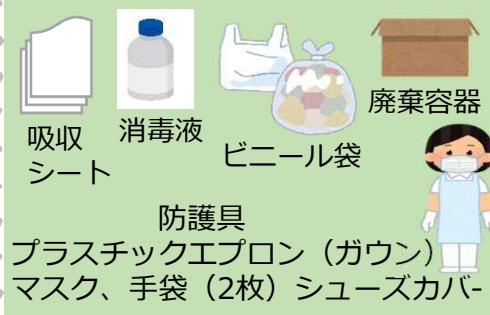
➡ 汚物処理は、感染しないよう必要な準備をしてから実施する

吐物処理セットがあると便利

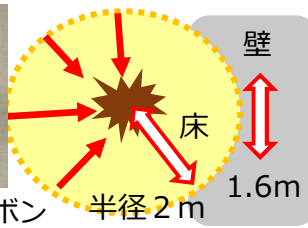
消毒液や拭き取り用シート、防護具がセットになっている製品が販売されています。

➡ 処理者が汚染を広げないようにする

床におう吐物が落下したら速やかに正しく処理する。広範囲に飛び散るため半径約2m外側から内側に向けて拭きとる



床にガウンの裾やズボンが付かないように



疑い・陽性者がでた場合の感染対策

・初期症状：激しい嘔吐・下痢、特に「水様便」

上記のような症状があった場合には、疑って看護職員に報告します。

・疑ったら、可能な限り個室に移します。（以下のマニュアルを参考に）

⚠ 高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版（厚生労働省）